

RICOH

AUTO HALF

E



RICOH

撮影の手引

# E オートハーフEの特長

## 1. 露出計完全連動

カメラを被写体にむけて、シャッターボタンを押す、それだけで、カメラが自動的に適正露出を決定し、失敗のない写真が出来あがります。

## 2. ピント調節は必要なし

ピンボケは絶対にありません。

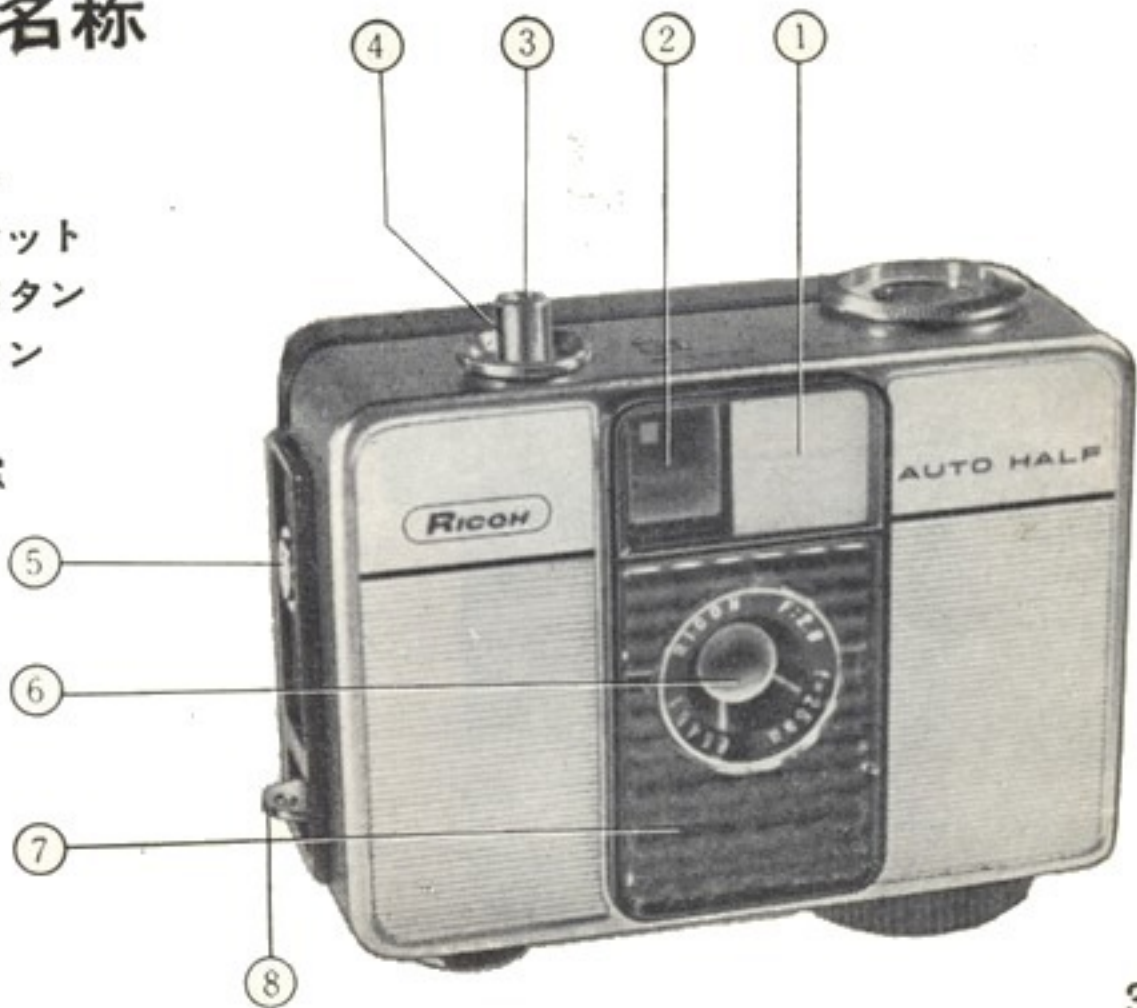
固定焦点ですから、ピントの調節は必要なく、しかも明るい F2.8 広角25mmレンズですので、焦点深度が深く、1.5mから無限大の距離まで、どの位置でもハッキリ写ります。

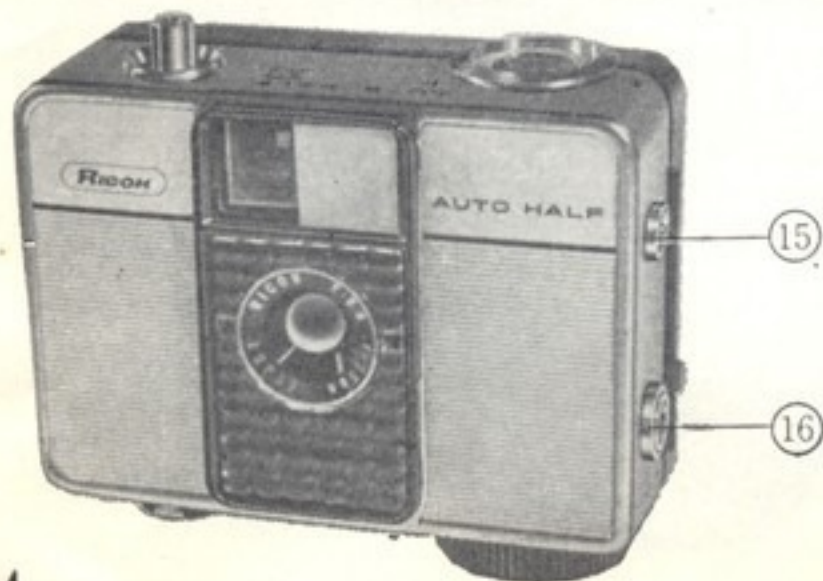
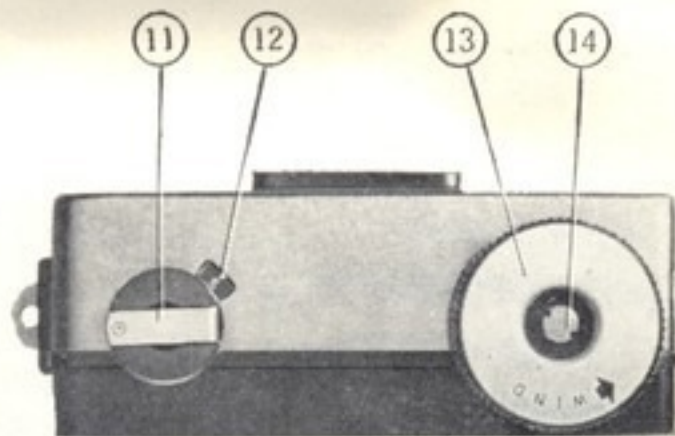
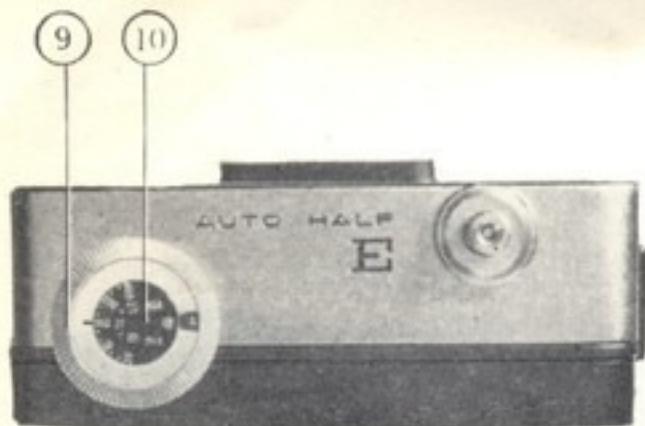
## 3. フィルムがひとりでに巻上る

シャッターを切った後、カメラに内蔵されたスプリングモーターが、フィルムを自動的に巻上げますから、いちいち巻上げる必要もなく、すぐに次の撮影が出来ます。スナップやスポーツ写真などの連続撮影にはとても便利です。

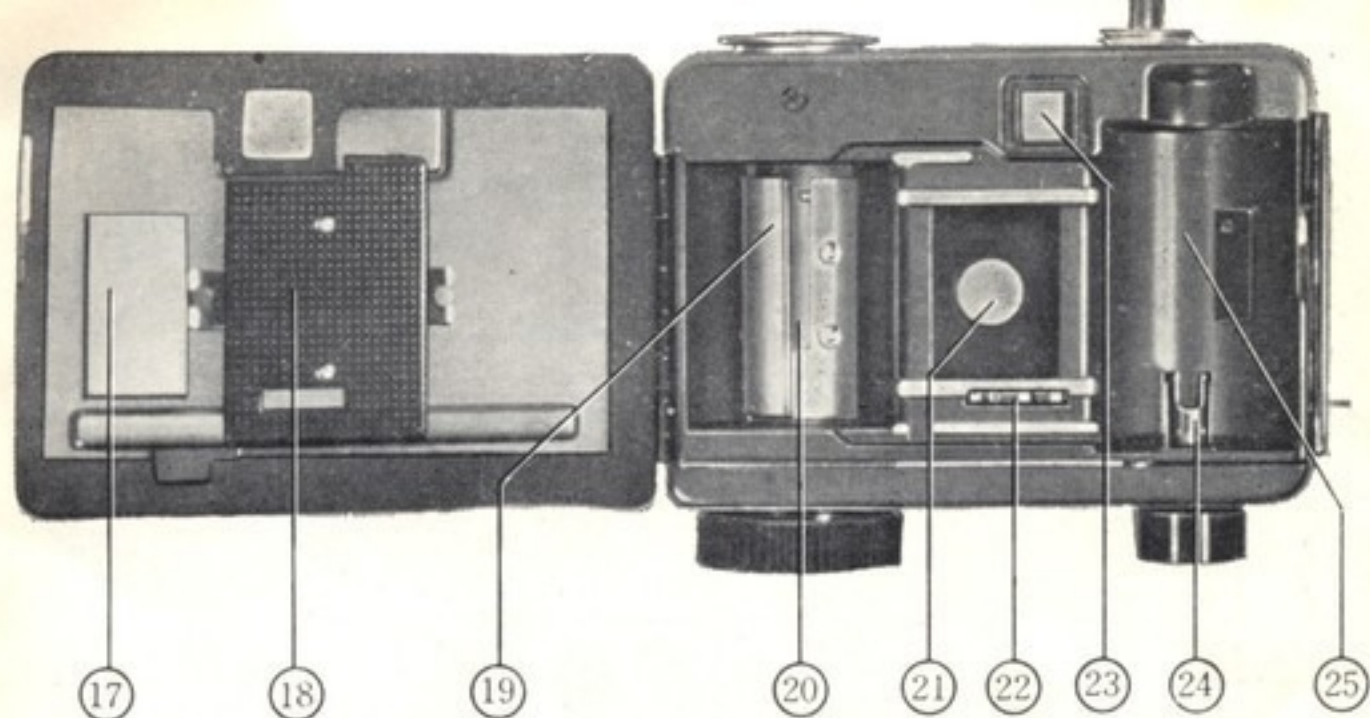
# E 各部の名称

- ① 明りとり窓
- ② ファインダー
- ③ レリーズソケット
- ④ シャッターボタン
- ⑤ 裏蓋開閉ボタン
- ⑥ 撮影レンズ
- ⑦ 露出計受光窓
- ⑧ 紐吊り金具





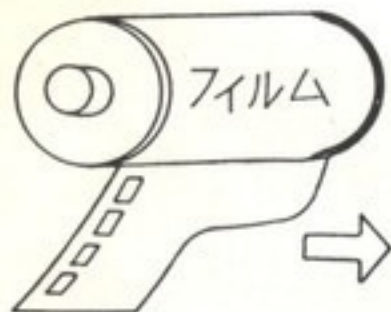
- ⑨ 絞りダイヤル
- ⑩ ASAダイヤル
- ⑪ フィルム巻戻しクランク
- ⑫ フィルムカウンター
- ⑬ スプリング巻上げノブ
- ⑭ フィルム巻戻しボタン
- ⑮ シンクロソケット
- ⑯ 三脚取付ネジ穴



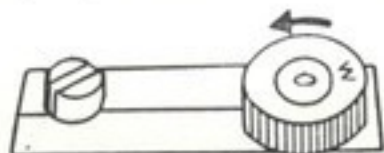
- ①⑦ バトローネ押え
- ①⑧ フィルム圧板
- ①⑨ スプールバネ
- ②⑩ スプール
- ②⑪ シャッター羽根

- ②② スプロケット
- ②③ ファインダー接眼
- ②④ バトローネ受軸
- ②⑤ バトローネ室

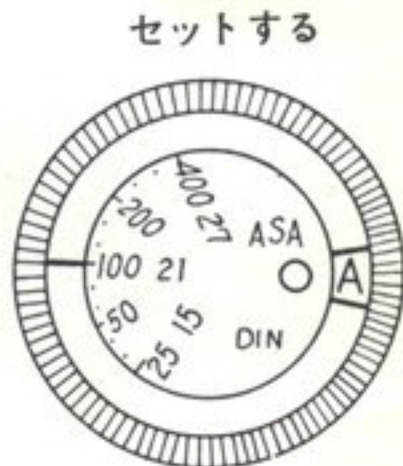
# E 撮影順序早わかり



フィルムを入れる



巻上げる



シャッターを切る



ファインダーをのぞく

# Eフィルムを入れる前に

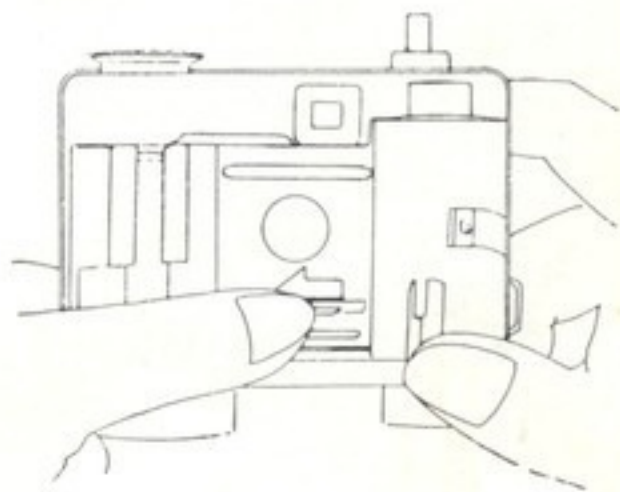
次の事にご注意ください。

※フィルムが入っていない時はシャッターは切れません。

※スプロケットを止まるまで廻せばシャッターは切れます。(☒)

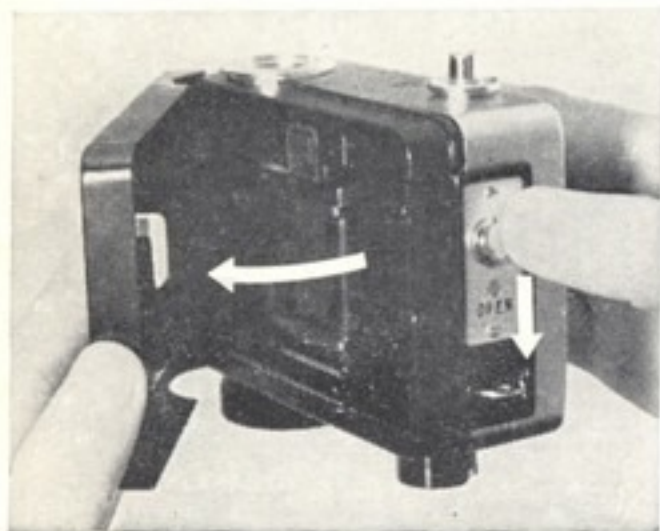
※シャッターボタンを押してスプリングを解除してください。

押せない時はそのままフィルムを入れます。

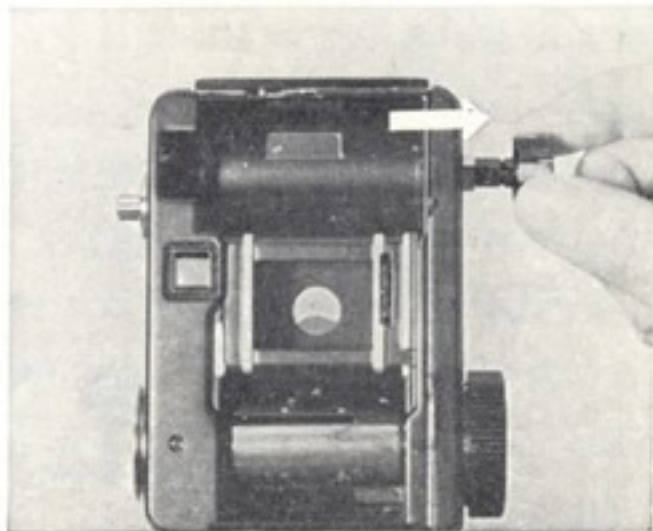


# Eフィルムに入れ方

フィルムを入れる時は直射日光をさけてください。

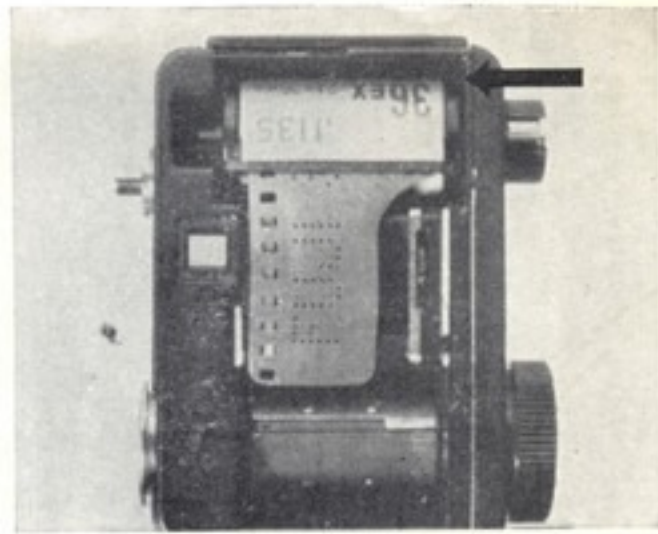
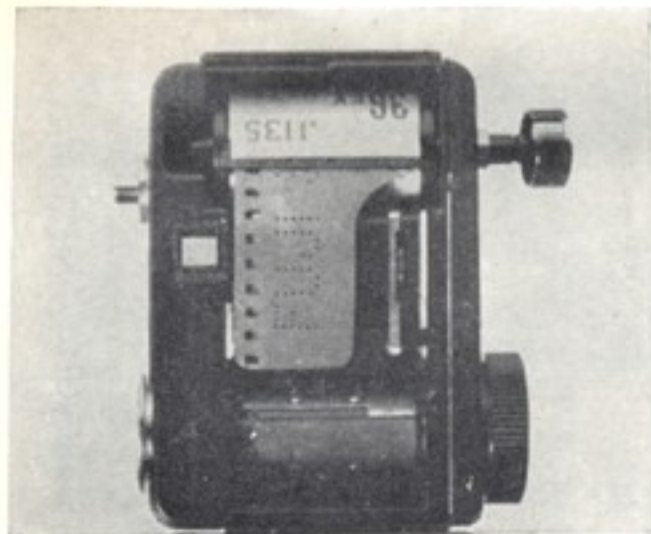


- ①裏蓋を開きます。  
裏蓋開閉ボタンを**OPEN**の方向  
へ押して開きます。

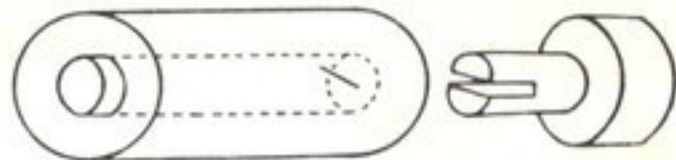


- ②フィルム巻戻しクランクを引き出  
します。





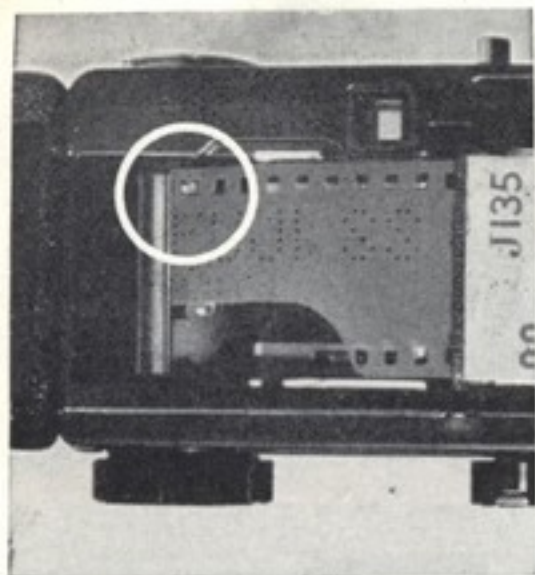
- ③パトローネ室にフィルムを入れます。
- ④フィルム巻戻しクランクを押し込みます。この時、フィルムの軸とパトローネ受軸の溝とが合うようにキッチリ押し込みます。





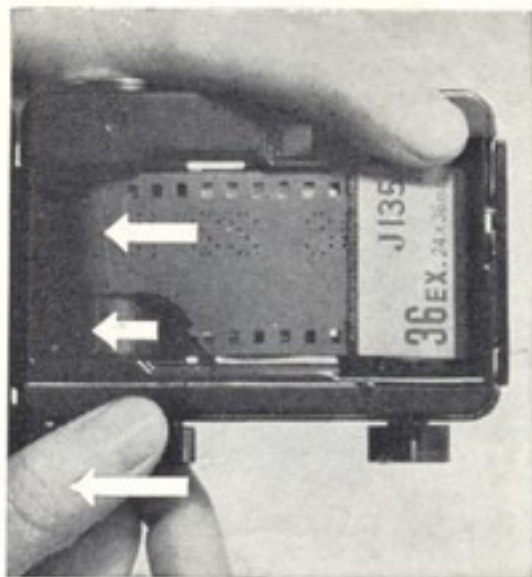
- ⑤ スプールバネを上に向けます。  
巻上げノブを廻してスプールバネ  
のフィルムくわえ口を上にもって  
きます。

※ フィルムのくわえ口は3箇所あり  
ますが、どれでも使用できます。  
※ 巻上げノブを廻しますと、ジャー  
ジャーと音がしますがスプリング  
は効いていません。

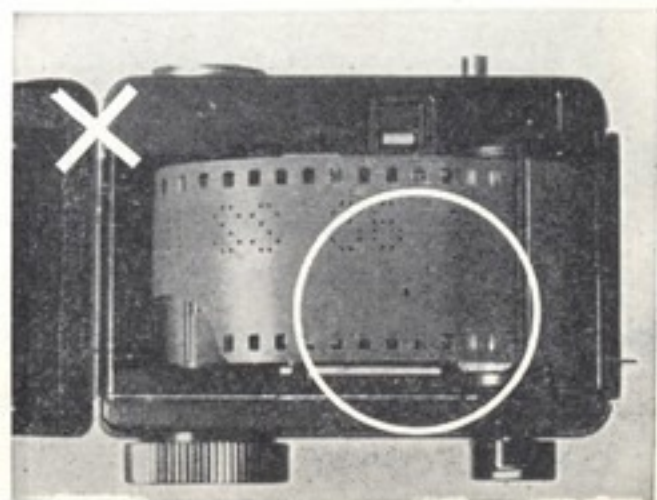
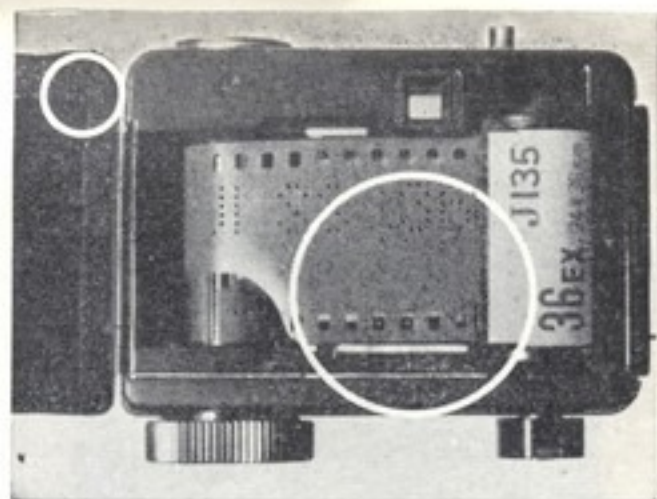
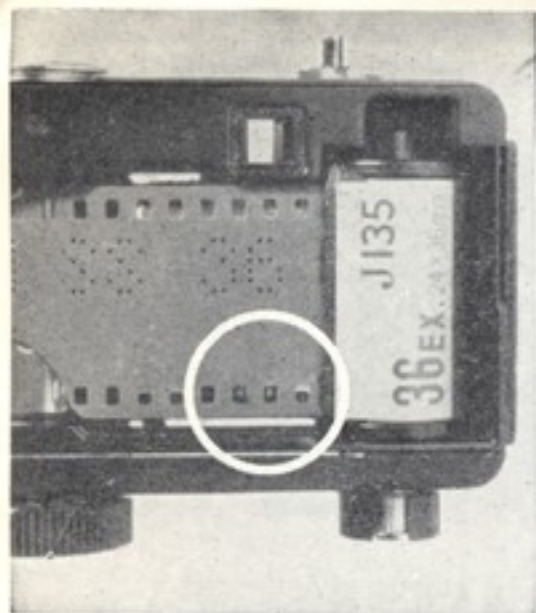


- ⑥ フィルムをパトローネから引き出して、スプールバネにさし込みます。

※この時、フィルムの穴とスプールバネの爪とが、正しく合うようにします。

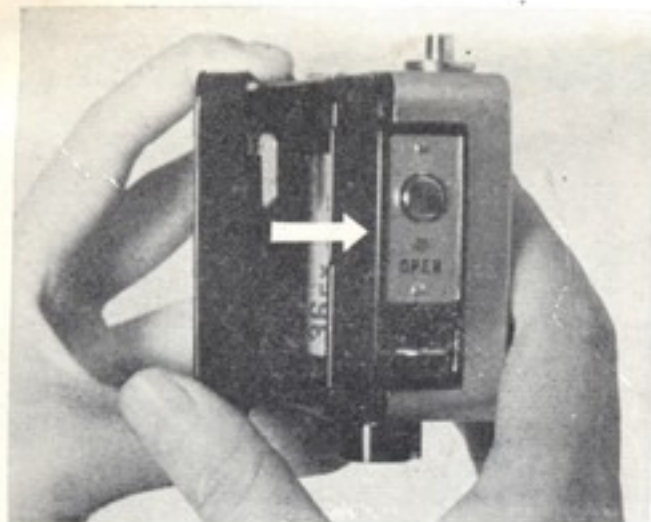


- ⑦ 巻上げノブを少し廻して、フィルムを巻上げてゆきます。



⑧ スプロケットにフィルムの穴を正しく合せます。

※ スプロケットとフィルムの穴が正しく合っていないとフィルムはいつまでも進みます。



⑨フィルムが正しく入っている事を  
確かめ、裏蓋を閉じます。

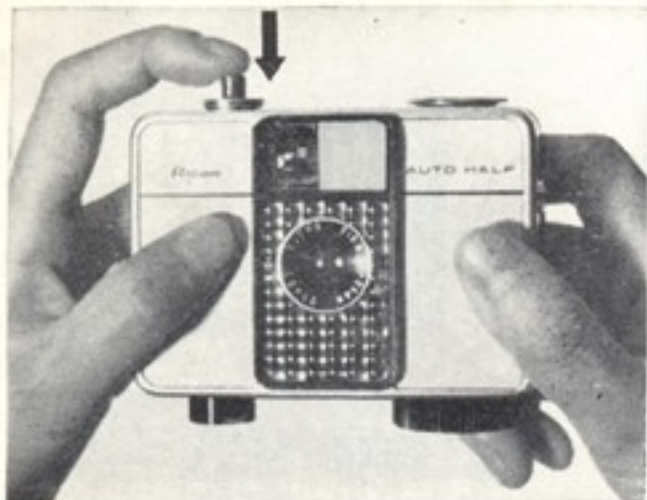
※裏蓋を閉じてても、開閉ボタンが下  
っている時は、上に戻しておきま  
す。



⑩スプリングを巻上げます。

巻上げノブをWIND方向に止ま  
るまで巻上げます。

※フィルムによって多少ちがいますが、スプリングを一杯巻上げる事  
により約30枚は連続で撮影できま  
す。

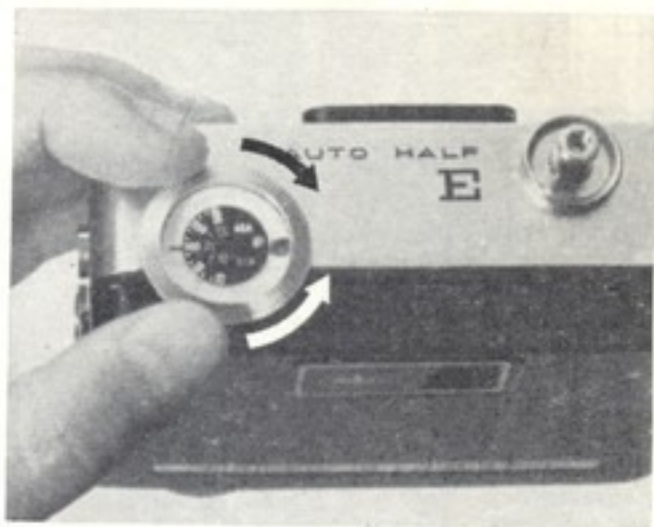


- ⑪ フィルムのはじめ2～3枚は、すでに感光している危険がありますので、カウンターに1が出るまでシャッターを切ってフィルムを巻上げます。



※ S→1

# E 露出ダイヤル調節



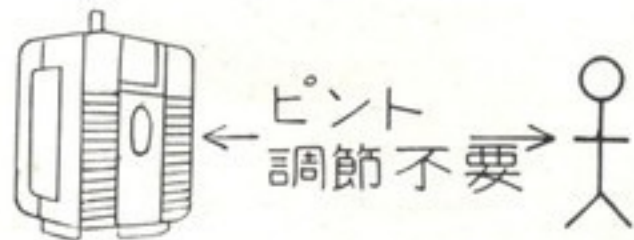
- ① ASAダイヤルをまわして、使用フィルム  
の感度に合わせます。  
(例) SS級フィルムの場合にはA  
AS100です。

- ② 絞りダイヤルをまわして、Aに合  
合わせます。  
※ A (オート) …自動的に正しい露  
出をきめます。

ASAダイヤルの中  
間数字はそれぞれ次  
のようになっています

ASA 25 (32)(40) 50 (64)(80) 100 (125) (160) (250) (320) 400  
DIN 15 21 27  
(16)(17)(18)(19)(20) (22) (23) (24) (25) (26)

# Eファインダーの見方



## <構図>

ファインダー内の金色のフレーム線（四角い枠）内に写そうとするものが入るよう、カメラの位置を決めます。

## <ピント調節>

固定焦点式ですからピント調節の必要はありません。





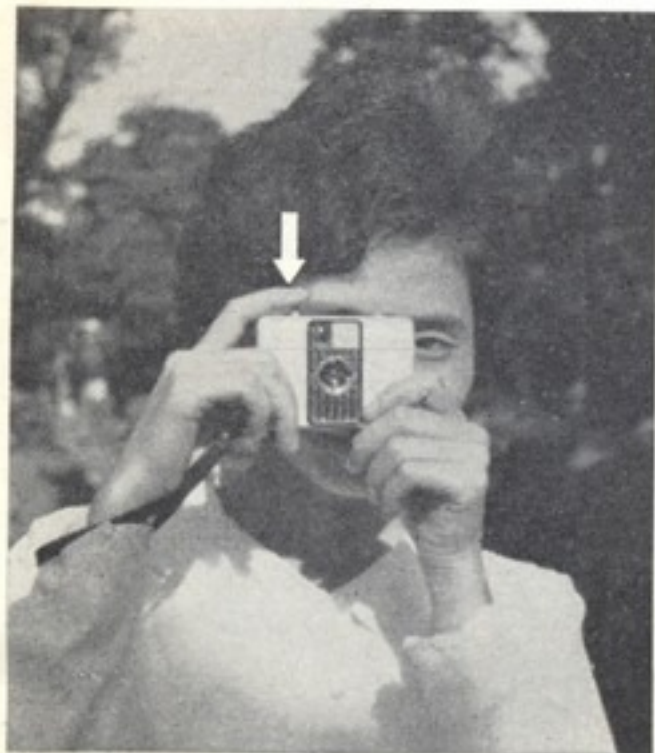
〈露出警告マーク〉

正しい露出の時にはファインダー中央部に黄色の円形マークが見えます。



※円形マークが赤色の時には露出不足になります。この場合はシャッターを切っても良い写真は撮れませんから照明でうつすものを明るくするか、フラッシュ撮影をしてください。

## E シャッターを切る



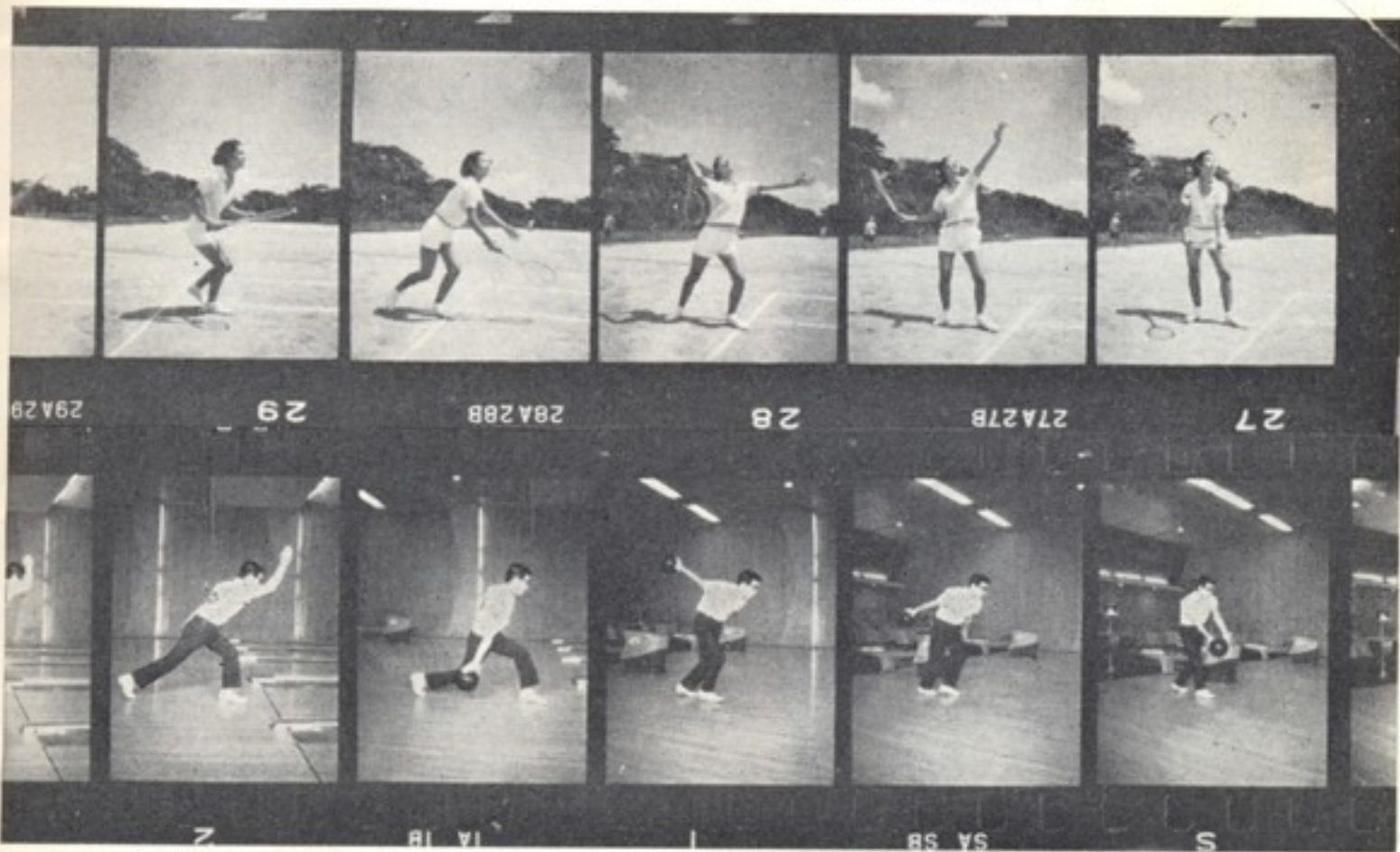
- ①カメラをしっかりと構えて  
シャッターボタンは、最後まで押してください。
- ②シャッターボタンをはなすと、ジーッと音がして、次のフィルムを巻上げます。

### 注意

シャッターボタンが途中で止まる  
ことがあります。

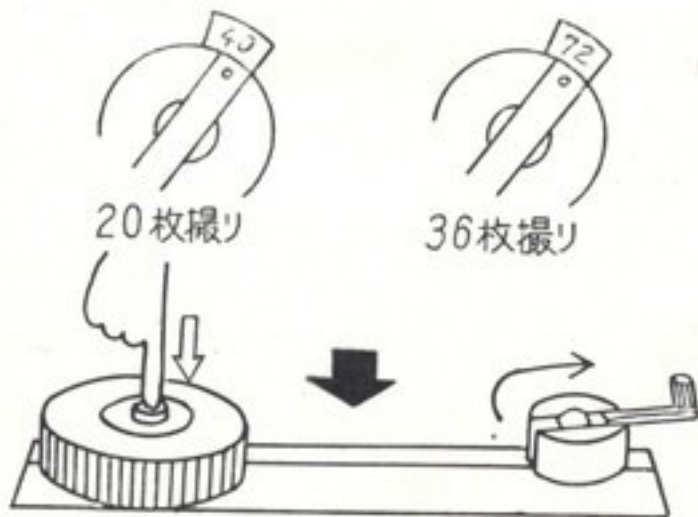
フィルムを正確に巻上げるための  
安全装置で、シャッターボタンを  
最後まで押せばもとに戻ります。

◎自動巻きですから次のように連続撮影が出来ます。



# E シャッターボタンが押せない時

無理にシャッターボタンを押さずに次のことを確かめてください。

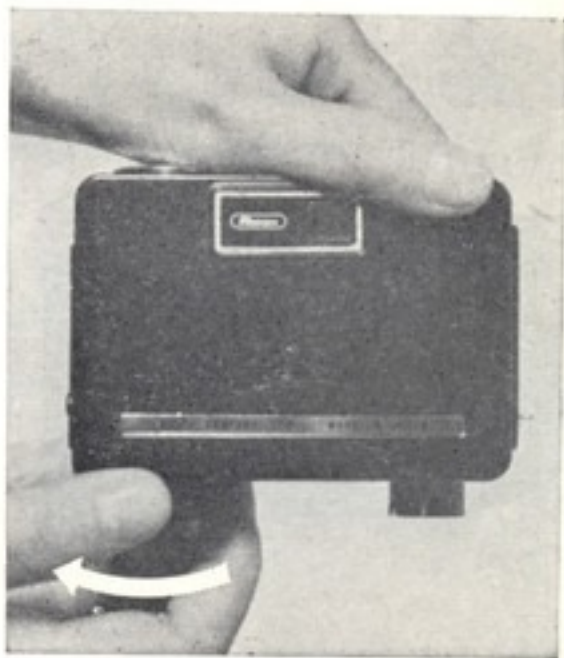


- ①フィルムが全部写し終っている場合。（この時はフィルムを巻きもどします）



ナイ?アル?

- ②フィルム巻上げスプリングがなくなっている場合。(この時はスプリングを巻上げます)



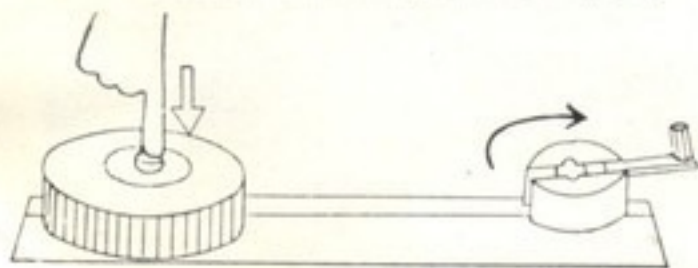
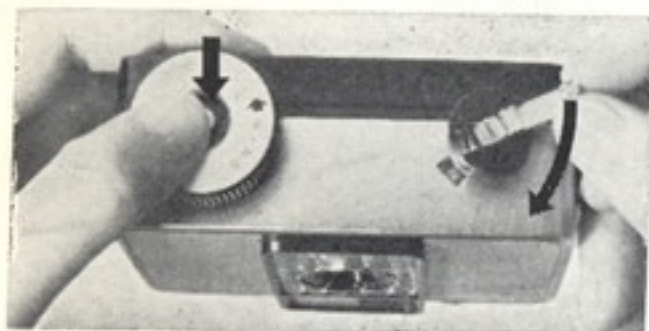
# E 撮影終了…フィルム巻戻し



20枚撮り



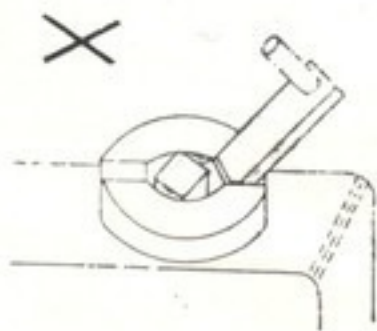
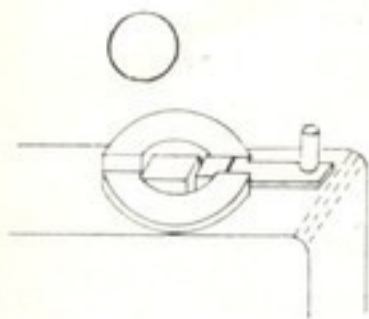
36枚撮り



- ①フィルムカウンターを確かめます。
- ②巻戻しクランクを起こし、巻戻しボタンを押しながら、クランクを矢印の方向に廻わしてフィルムを巻戻します。

※クランクは軸にある角型ビスの角に当らぬように水平位置にします。  
※巻戻しボタンが固い事がありますが、そのまま強く押してください。この時ジーッと音がしてスプリングがほどけますが、この音はフィルムを巻戻している音ではありません。

※フィルムが巻戻されるとクランクは急に軽くなります。

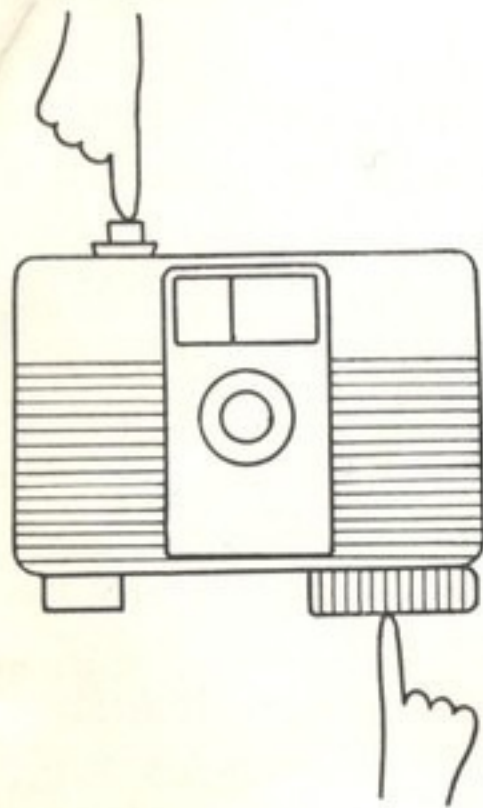


フィルム巻戻しクランク  
必ず水平位置で御使用下さい。

〈順序〉

- ①巻戻しクランクを起こした時、軸の中心にある角型ビスの角に当らぬようにして下さい。
- ②もし角型ビスの角に当る場合は、クランクを軽く矢印の方向に回転させながら、水平位置に起こします。
- ③角型ビスの角に当たったままで強く押しますと、クランクを破損する恐れがあります。
- ④撮影中は、クランクの外側は回転しない機構になっております。

# E 撮影のエッセンス



〈スプリング解除について〉

スプリングが巻上げられたままでかなり長い間おいても、わるい影響はありません。

〈解除方法〉

## ○フィルムの入っている時

巻きもどしボタンを押しながらシャッターを切ると、ジーッとスプリングがほどける音がします。音のしている間は巻きもどしボタンを押しててください。

※再び撮影の時には、巻上げノブを止まるまで廻して、スプリングを巻上げます。

## ○フィルムが入っていない時

シャッターを切ってみます。



# Eフラッシュ撮影



夜間や室内などの暗い所では、ファインダー内の露出警告マークが赤色になります。こんな時には、フラッシュ撮影を行って、写真の楽しさを倍加してください。

## <フラッシュ撮影の手順>

※オートハーフE専用フラッシュガン(ハーフフラッシュ)使用の場合

- ①カメラにハーフフラッシュを取付けます。ハーフフラッシュはノーコード式ですから、カメラにネジ込むだけで接点は接続されます。
- ②ハーフフラッシュにフラッシュバルブを取付けます。(AG型専用です)

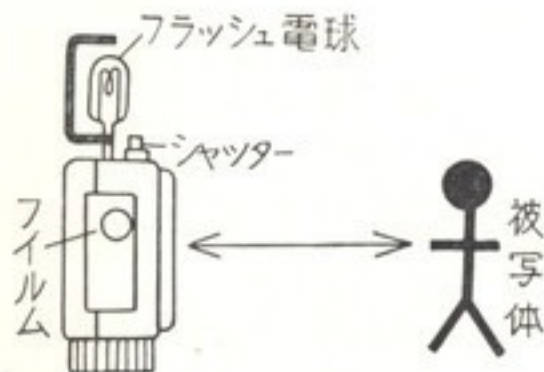
※お手持ちのフラッシュガン使用の場合

- ①カメラにフラッシュユニットアダプターを取付け、フラッシュガンを取付けます。
- ②コードを接続後フラッシュガンにフラッシュバルブを取付けます。

※フラッシュバルブの種類

オートハーフEのシャッターはX接点ですからM級バルブ、ストロボのいずれも使用出来ます。

# Eフラッシュ撮影の露出

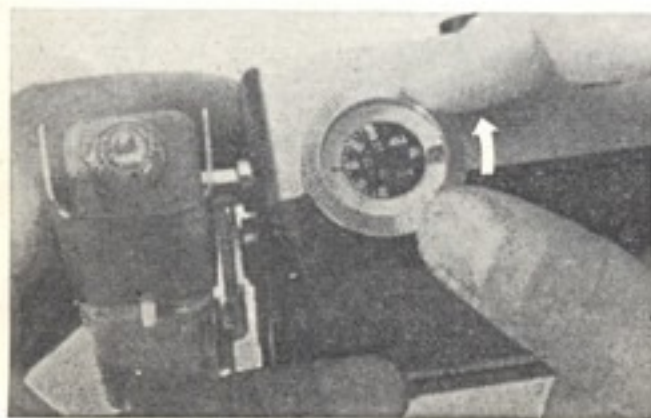


絞り値を算出して、絞りダイヤルをAからはずしてセットします。  
絞り値 = ガイドナンバー ÷ 距離

○ガイドナンバーとは  
使用フィルムの感光度とシャッタースピードに応じたフラッシュバルブの数値で、フラッシュバルブの箱に明示されています。

※オートハーフEはフラッシュ撮影の時、絞りダイヤルをAからはずすと、シャッタースピードは $\frac{1}{30}$ 秒にセットされます。

絞り目盛は2.8・5.6・11・22となっています。(4) (8) (16)



(例) 東芝A G-1 使用の場合

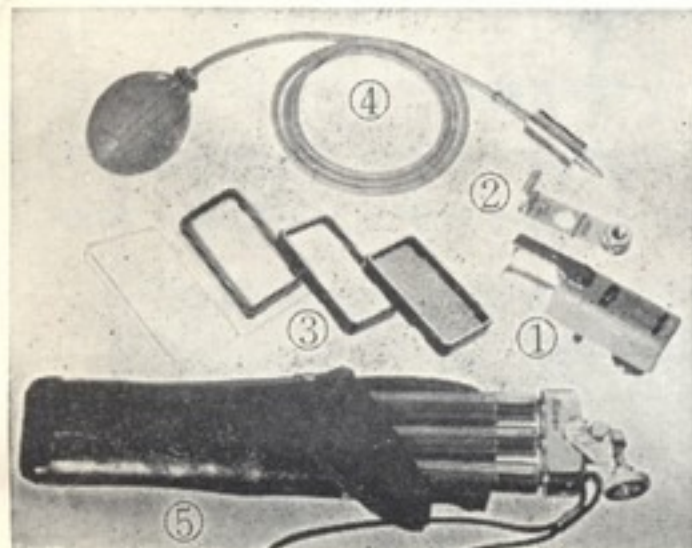
シャッター	フィルム感度		
	ASA 50	ASA 100	ASA 200
$\frac{1}{30}$	30	40	56

SS級フィルム (ASA 100) を使用している時は、オートハーフEのシャッターが $\frac{1}{30}$ に対するフラッシュバルブのガイドナンバーを求めます。上表より、東芝A G-1を使用する場合は、**ガイドナンバーは40**とわかります。

算出方法より、5メートルの被写体の絞り値は  
 $40 \div 5 = 8$  より  $F = 8$  となります。従ってこの8を絞りダイヤル上にセットすればよいわけです。

# E アクセサリー

撮影の範囲を広げ、撮影をより効果的にするため、次のようなアクセサリーを準備してあります。



- ① ハーフフラッシュ
- ② フラッシュユニットアダプター  
(ハーフフラッシュ以外のフラッシュガン又はストロボ使用時)
- ③ フィルター(オートハーフE専用)  
UVS・Y2・ND4
- ④ リモートコントローラー
- ⑤ ハーフ三脚

※ オートハーフEの専用フィルターを取付けた時、露出は自動的に調節されます。

○ セルフタイマーも用意してあります。

# E仕様

- レンズ      リコーF2.8 25mm, 3群4枚構成テッサータイプ, 固定焦点式
- シャッター      セイコーシャッターBS11型, エバーセット方式, オート時 ( $\frac{1}{25}$ 秒), フラッシュ時 ( $\frac{1}{30}$ 秒), X接点 (ストロボ, M級バルブに同調)
- ファインダー      逆ガリレオ採光式ブライトフレームファインダー, 倍率0.32
- 露出計      セレン光電池使用完全連動EE, 連動範囲EV10~16, ファインダー内露出警告マーク表示 (黄色 [適正]・赤 [不足]), ASA目盛 25 (32) (40) 50 (64) (80) 100 (125) (160) 200 (250) (320) 400 の13段階, 絞りF2.8~22
- フィルム操作      スプリングモーターによる自動巻上げ, 二重露出防止装置付, クランクによる巻戻し
- ボディー      アルミダイキャスト合金, 裏蓋・蝶番式
- 大きさ・重さ      89mm×67mm×34.5mm, 330g

	現金正価	月賦定価
カメラ	¥11,600	¥12,300
ケース	¥1,000	¥1,000
ストラップ	¥200	¥200

# E カメラの手入と保存

カメラは精密な機械ですから常にていねいに取扱い、手入れは充分に行って下さい。

- ① レンズのゴミはレンズブラシで軽く払い、汚れや指紋などのついて  
いる時はやわらかいサラシ木綿か  
ガーゼに少量のアルコールをつけ  
て中心部から外側へうずを描くよ  
うにして、軽く拭いてください。
- ② 海岸や雨日に使用した時は、乾い  
たやわらかい布で、とくに金属部  
分をよく拭いておいてください。
- ③ レンズと露出計受光窓を保護する  
ために、写さない時はいつもレン  
ズキャップをかぶせておいてくだ  
さい。
- ④ 磁石はもちろん、ラジオやテレビ  
など磁気のあるもののそばには、  
カメラを置かないでください。
- ⑤ レンズナンバーを控えておきまし  
ょう。

レンズ No.

正

株式会社 リコー

東京都大田区中馬込1-3-6